

会員各位

一般社団法人日本品質管理学会
会長 二橋 岩雄

日本品質管理学会 第2回特別座談会 TQM 推進の勘所 –先人の知恵を借りる–

日本品質管理学会では、下記の要領で第2回特別座談会を開催いたします。会員・会員外を問わず多数ご参加くださいますようお願いいたします。

日 時：2021年7月9日（金）13:00～18:00

会 場：Zoom 会議室（オンライン）

登壇者：品質管理推進功労賞受賞者

武石 健嗣 氏（元ジーシー）

須加尾 政一 氏（Q&S G A 研究所/元コニカミノルタ）

誉田 直美 氏（イデソン/元日本電気）

藤井 暢純 氏（グローバル品質経営研究所/元サンデンホールディングス）
コーディネータ

中條 武志 氏（中央大学）

申込方法：ホームページからお申し込みください。

https://jsqc.org/2nd_zadankai/

申込締切：2021年7月2日（金）

《概要》

2019年2月19日に開催した「TQM 推進の勘所–先人の知恵を借りる–」が好評を得て、第2回開催のご要望を多数受けましたので、ここに「第2回 TQM 推進の勘所–先人の知恵を借りる–」を開催いたします。

ここ数年、日本製品の品質、日本企業の品質管理体制に疑問符がついてしまうような重大な問題が多発しています。日本的品質管理はすでに十分成熟していると思われていたが、いつの間にかあちらこちらに綻びができてしまっています。気を抜いているわけでもないし、それなりに人もお金もかけています。しかしながら、現場がおかしなことになっている、現場感覚とかけ離れた指示が上層部から降ってくる、トップからも現場で起きていることの皮膚感覚を持ってない経営判断が行われているなど、本来日本企業の強みであったトップからボトムまでの全社的な一体感が失われてしまっているように見えます。

そのような危機感を背景にもう一度 TQM を見直す機会として特別座談会を企画しました。

日本品質管理学会では、所属組織における品質管理推進に長年貢献するだけでなく、品質管理の国際的、全国的、あるいは地域における発展、啓発および普及に貢献されてきた方々を「品質管理推進功労賞」として表彰してきました。本座談会では、「品質管理推進功労賞」を受賞された方をお招きして、長年 TQM 推進に携わった経験談から、過去と今を比較して、今後の TQM 再考の観点で TQM 推進の勘所について忌憚ないご意見を賜りたいと思っています。

座談会の司会には、2017年度デミング賞本賞を受賞された中條武志先生にお願いしました。長年にわたり、多くの企業の QC 指導を続けるとともに、TQM の概念や考え方、今現場で困っていることなどについて、アカデミアの立場から積極的に発信されています。

本座談会は、TQM 推進に携わる、あらゆる悩める人々を対象としています。実際に所属組織での TQM 推進で戦い続けた先人たちの言葉には、すぐ明日からでも役に立つ知恵が盛り込まれているはずで、座談会の後半はフランクな形態で直接先人からお話を聞く場も設定もされています。是非、積極的なご参加をお待ちしています。

《プログラム》

時 間	内 容	(敬称略)
13:00～13:05	開催挨拶	事業・広報委員会 委員長 斉藤 忠
13:05～13:35	(株)ジーシーにおけるGQM推進の道のり	元ジーシー 武石 健嗣
13:35～14:05	コニカミノルタ(株)におけるプロセス改善の推進 Q&SGA研究所/元コニカミノルタ	須加尾 政一
14:05～14:15	休 憩	
14:15～14:45	ソフトウェア開発の定量化と成功要因の分析による改善活動の推進(仮) イデソン/元日本電気	誉田 直美
14:45～15:15	サンデンにおけるTQMの推進 グローバル品質経営研究所/元サンデンホールディングス	藤井 暢純
15:15～15:25	休 憩	
15:25～16:45	【座談会：TQM推進の勘所(1)】 司会に適宜テーマを挙げてもらい、登壇者による経験談を踏まえた 討論と今後への提言を行います	コーディネータ：中央大学 中條 武志 パネラー：講演者全員
16:45～16:55	休 憩	
16:55～17:55	【座談会：TQM推進の勘所(2)】 参加者と登壇者とのフランクな形態の場を設けます (自由に直接質問していただけます)	コーディネータ：中央大学 中條 武志 パネラー：講演者全員
17:55～18:00	閉会挨拶	事業・広報委員会 委員 戸羽 節文

参加費：会 員 4,400 円 (締切後 4,950 円)
(税込) 非会員 8,800 円 (締切後 9,900 円)
準会員 2,200 円, 一般学生 3,300 円

そ の 他：Zoom 会議室の URL は入金確認後、前日にご連絡をいたします。

《お知らせ》

継続的専門能力開発 (CPD) の実績を証明いたします。それぞれの機関の様式に従い、記入済みの書式と本人であることが確認できる書類を前日までに郵送または PDF ファイルでお送りください。終了後、こちらから PDF ファイルで返送いたします。

手数料 会 員：無料 賛助会員：5名まで会員扱い 非会員：1通につき 1,000 円

※ CPD の証明時間は 4.5 時間です。